

前期選抜等で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜を実施しません。

平成30年度 二期入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号32

千葉県立船橋古和釜高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

自立した社会人になるために高校進学を強く望み、入学後はルールを守り、学校の指導に素直に従い、かつ、次のいずれかを満たす生徒

ア 学習活動・特別活動等に意欲的に取り組み、地道な努力ができる者

イ 中学校で部活動に積極的に参加し、本校の部活動を3年間継続して行う強い意志がある者

2 選抜資料

(1) 学力検査	3教科（国語・数学・英語）の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査（300点）

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科（各教科100点満点）の合計300点満点で評価する。
個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合、審議の対象とする。

(2) 調査書

アの数値に、イ～カについて加点（上限100点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	内容に応じて数値化する。
ウ 行動の記録	内容に応じて数値化する。基準を設け、慎重に審議する。
エ 特別活動の記録	内容に応じて数値化する。
オ 部活動の記録	
カ 特記事項	資格取得の状況を内容に応じて評価する。
キ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 (160点)

s・a・b・c・d・eの6段階で評価する。2名の評価者の評価(各80点満点)を合計し、160点満点で評価する。評価点が80点未満の場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 意欲	面接の質疑応答より、本校に入学する意欲がある。
イ 規範意識	面接の質疑応答より、規範意識がある。
ウ 言葉遣い・応答の的確さ	質疑応答のやりとりが正しくおこなえる。
エ 服装頭髪・態度	面接中の身だしなみや行動が本校生徒としてふさわしい。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査(3教科)の成績」、「調査書の得点」、「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

総得点の満点の内訳

学力検査の 成績	調査書の得点		面接の得点	総得点
	評定(算式1)	加点		
300点	$(135 + \alpha - m)$ 点	100点	160点	$(695 + \alpha - m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年(義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年)の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

特になし。